

四季造物趣向種

二編
乾

79

22

3

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

明 9
號 22
卷 3

序

造物趣向は種々ある所のあり出く此種也

その志は兼て其実のありたるはやう富

やと覚るは小徳ふとれを以て種々たる

世にその小實奇を以ては種々たる

世にその世に並りてとやして願ふ実のありて

種々のありて之の内と風の如くはなる

のちうをばしるるは耕しと志る

浪華

五風十雨



遠の島

上



造物趣向種第二編

目錄

- 福祿壽 ○焚
- 長刀 鉾 ○玉藻
- 拓 榴 ○獅
- 象 象奴 ○富士の牧狩
- 布 袋 ○陵 王 ○鷹
- 寶 船 ○草摺 引 ○虎
- 雉子野花 ○二見浦 ○任吉土産 ○蝸牛木賊
- 狸々の舞 ○柳 碁 ○案山子 ○鬼
- 海老赤貝
- 繪 大津 耶 ○萬年青孔雀羽
- 獅 々 ○大津 繪 ○狸
- 雞野花 ○芭蕉蜘蛛
- 獵師 狐 ○登
- 大津 繪 ○狸
- 萬年青孔雀羽
- 賣 ト者
- 飾具足太刀
- 萬年青孔雀羽
- 賣 ト者

通計四十種

福祿壽

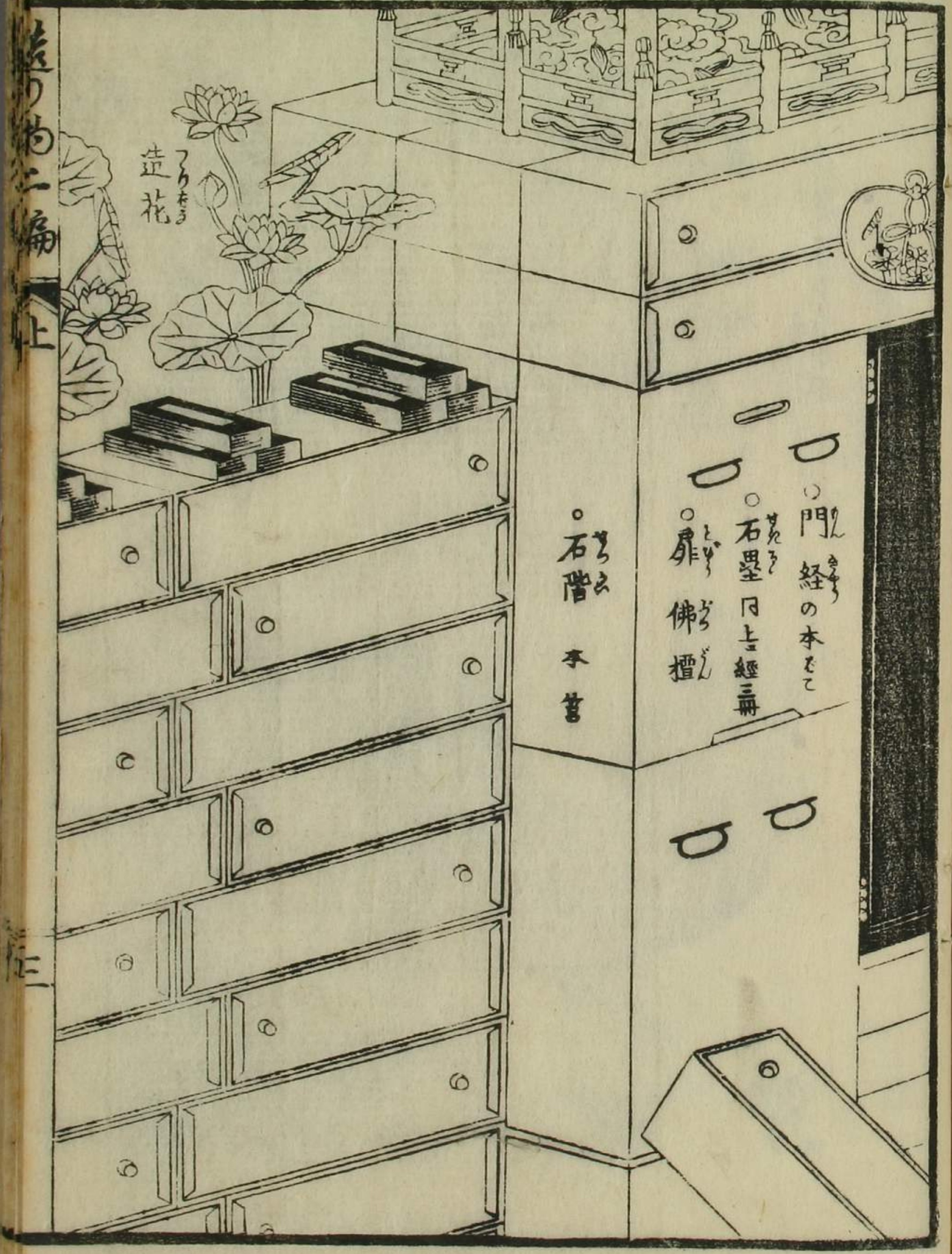
皆礼用具 一式

- 頭島臺 ○目ごまめ ○鼻きこ壺
- 口ごまめ ○齒から栗
- 髪眉毛 髭 鬚 霜 こんぶ
- 耳の内巻すめ 解々々
- 胴大三方 ○頭巾綿がじ
- 袖袴 衝重
- 手耳かりけ ○足雲わらひ
- 團朱ころがれ二同柄こま揚枝
- 松竹梅あいらみ
- 恰好とよへ度着の極ろくま



翠峯

造物趣向種第二編

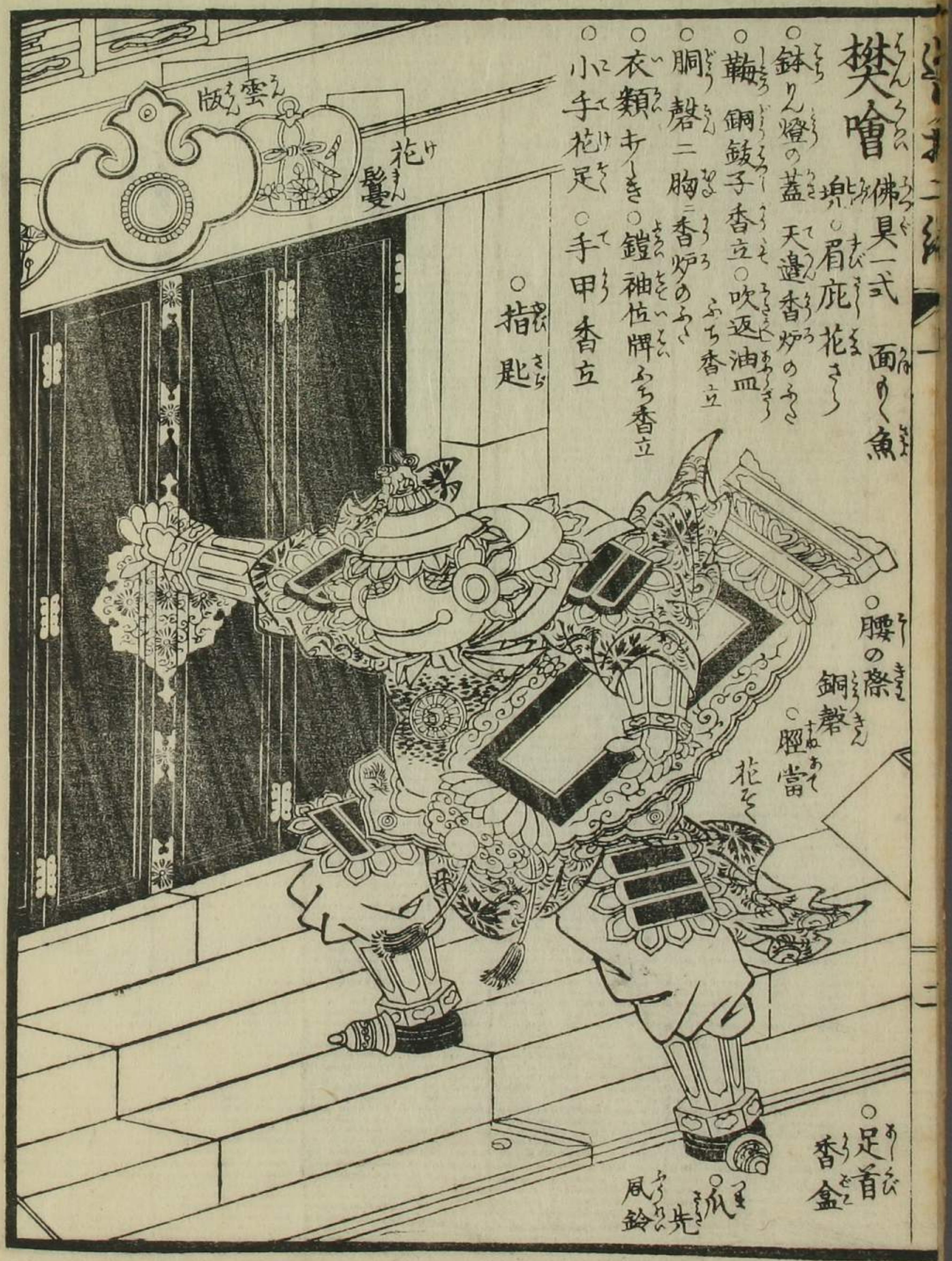


遠の物二編

造花

石階 平首

門經の本を
石墨 同上 經三冊
扉佛壇



樊噲 佛具一式 面魚
鉢 燈の蓋 天邊香炉の
鞆 銅鼓子香立 吹返油皿
胸 磬二胸 香炉のふ
衣類 手甲 香立
小手花足 手甲香立

指匙

腰の際
銅磬
燈當
花

足首
香金

風鈴

鶏

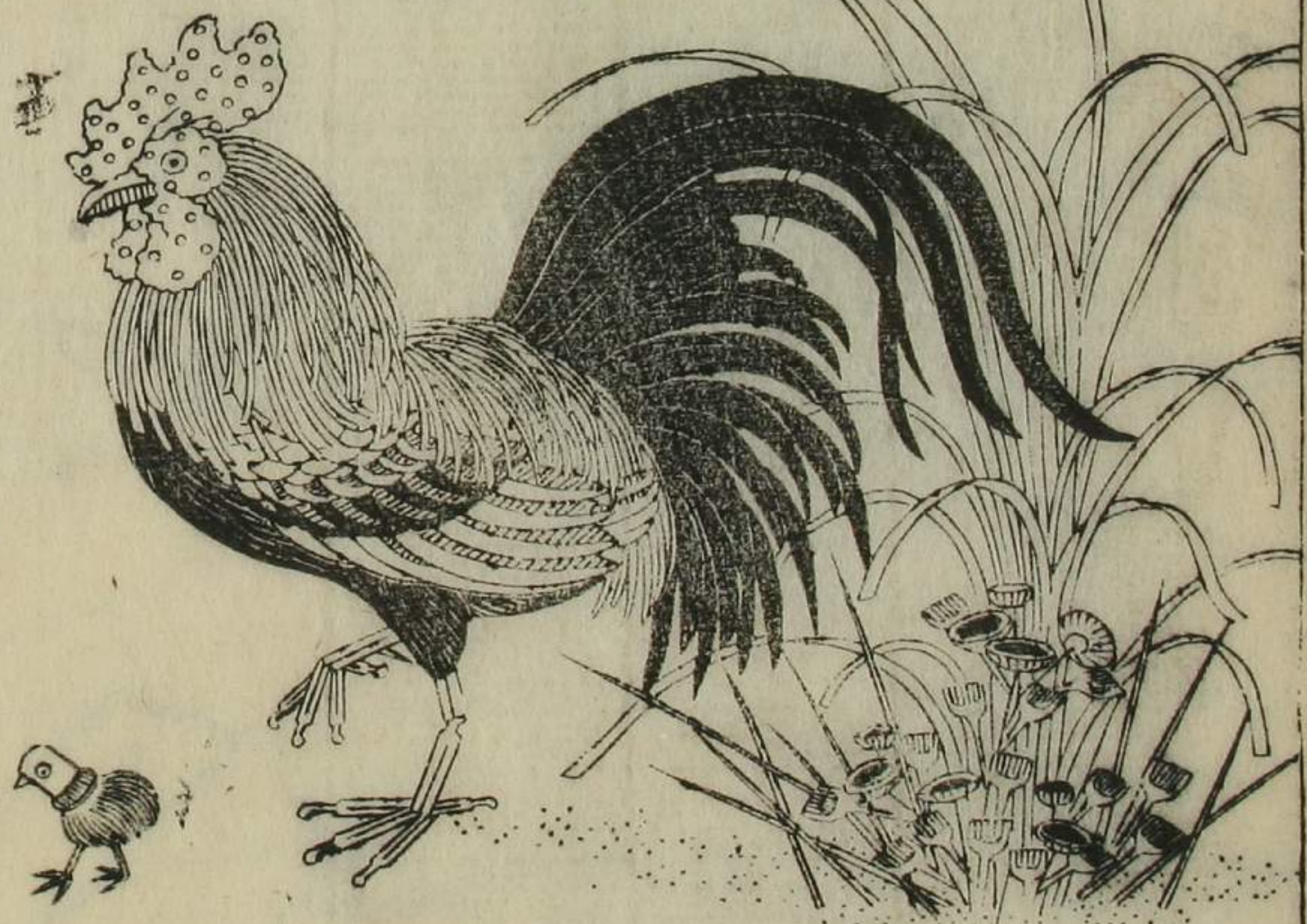
化粧具一式

- 鶯つげの櫛 ○ 頭とる排鹿子
- 首毛真鍮のびんころ ○ 目白珊瑚の玉
- 脊の羽かみりげぬ粉入蛤貝
- 手羽つげのいもろこ
- 簀毛 真らびんころ
- 腹毛尾 うもー足甲のまじ
- 雌鳥同 ○ 手羽つげのこ
- 腹毛 眉くけ ○ 尾びんつけ
- 雛鳥 眉くけ ○ 足こみ角

芭蕉 蜘蛛 塗物一式

葉 青漆筋の吸物膳

軸 黄の塗箸



○ 巻葉 青漆の食籠

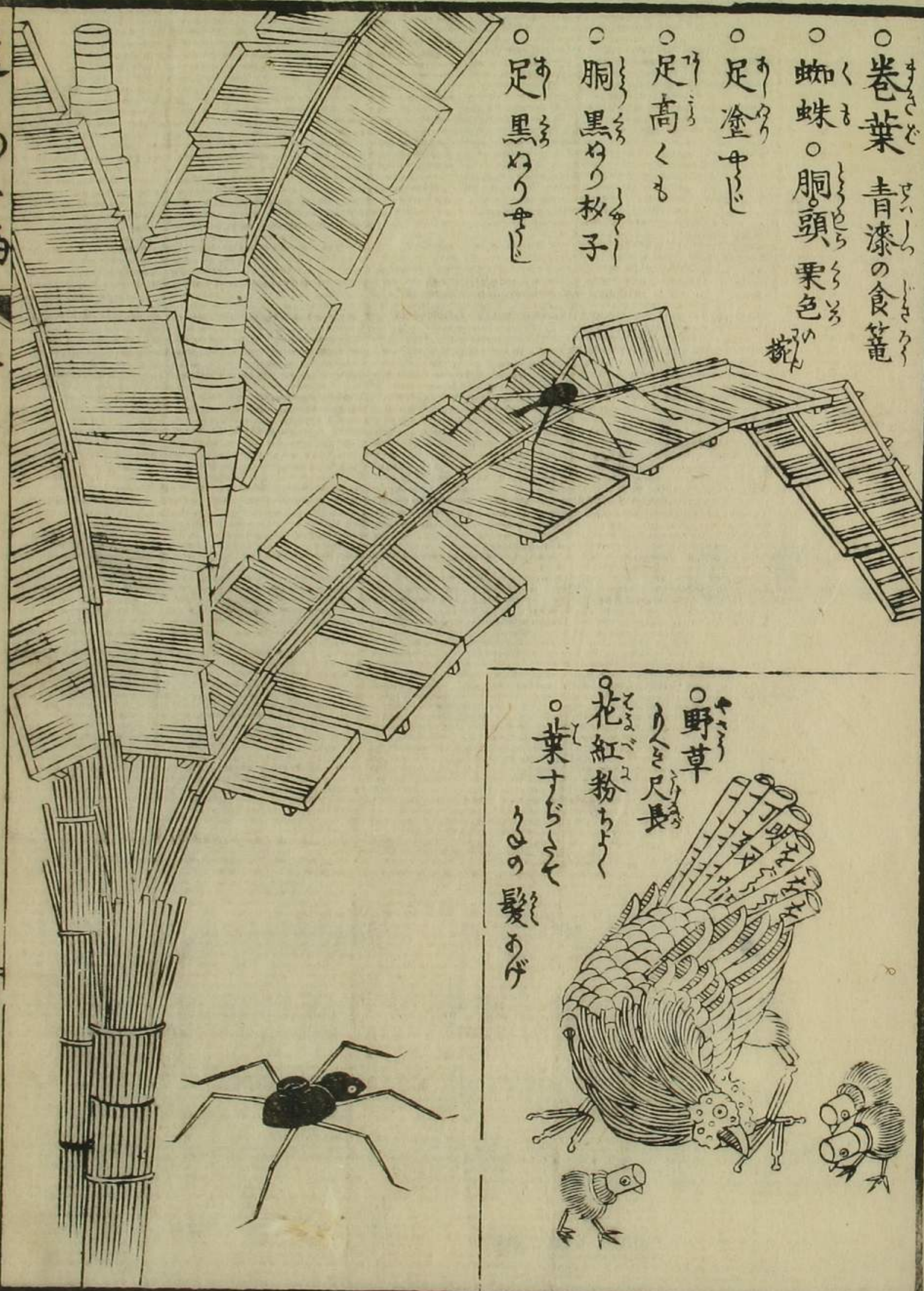
○ 蜘蛛 胴頭栗色

○ 足塗サビ

○ 足高くも

○ 胴黒なり枚子

○ 足黒なりサビ



○ 野草

○ 花紅粉ちやく

○ 葉ナラこ

うの髪あが

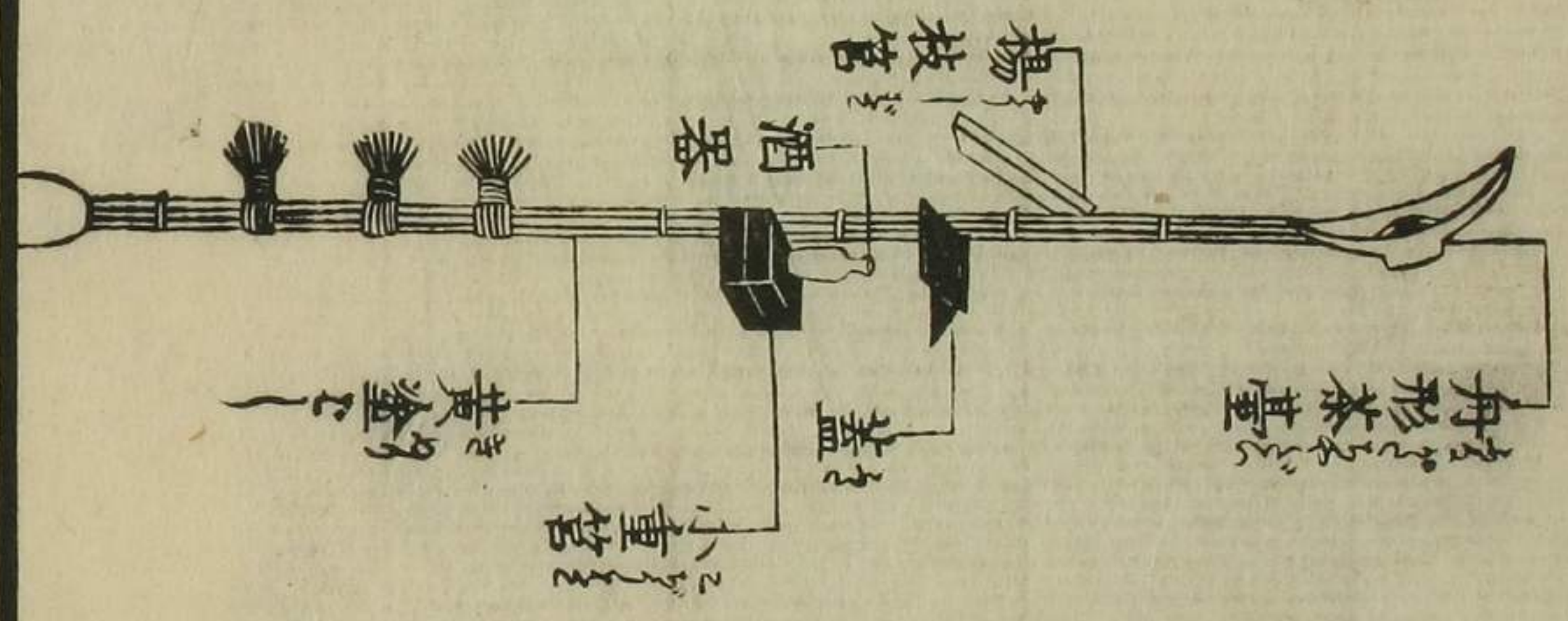
巻の物

上

口

祇園會長刀鉞 塗物一式

- 屋根黒面管の蓋。水引幕。朱時馬重箱。異青貝重管。
- 柱手摺。朱箸管。○提燈。食箸。
- 大幕。黒青貝硯。○破風口菊の吸蓋。塗匙。
- 車。黒分皿。揚枝管。坪。○棟。朱箸管。抄子。
- 土臺。黄塗箸管。

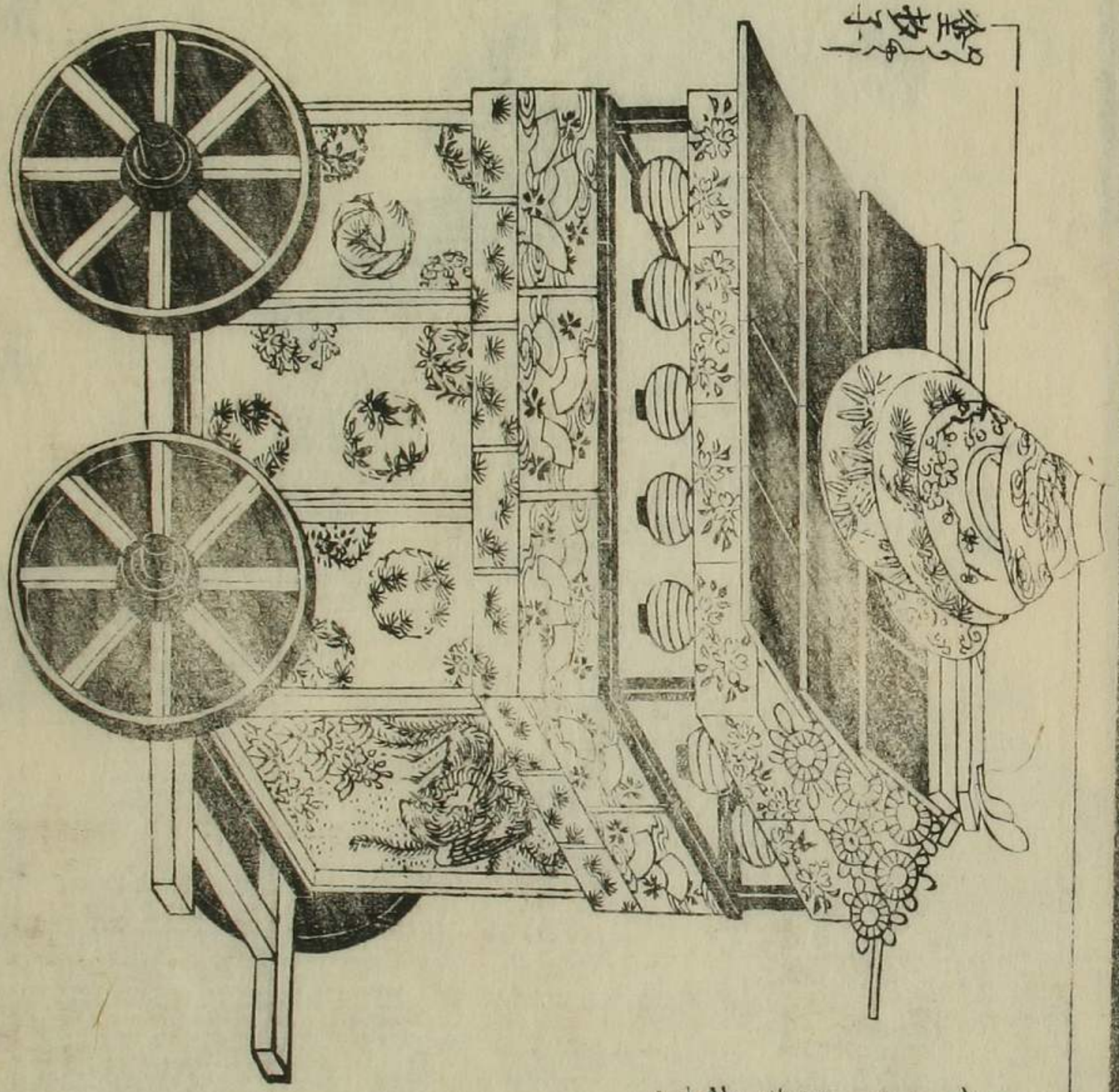


金
多
長
山
長
口

一
枝
の
ゆ
束

花
解

朱時馬重箱
朱時馬重箱

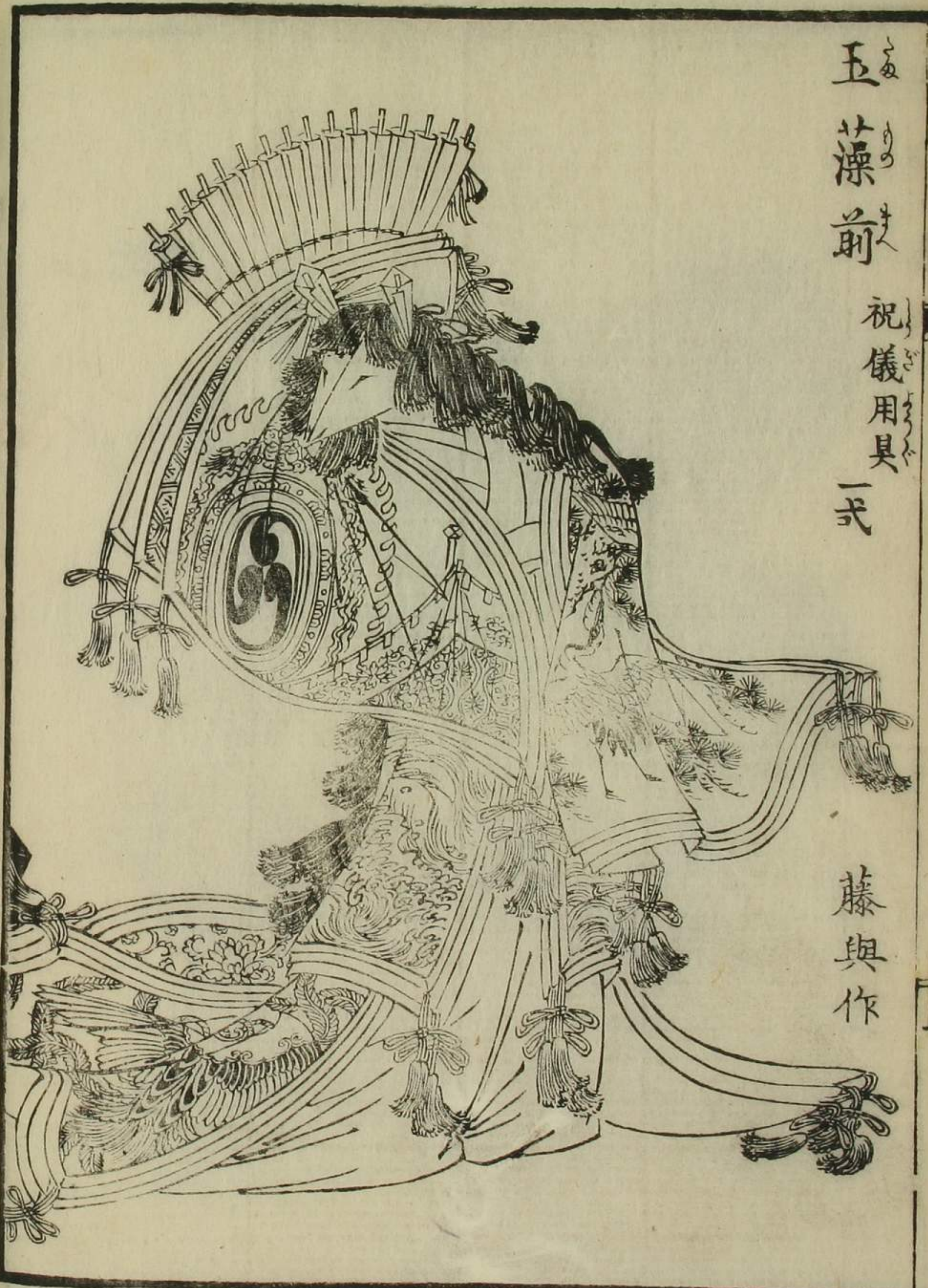


五 水仙前

祝儀用具

一

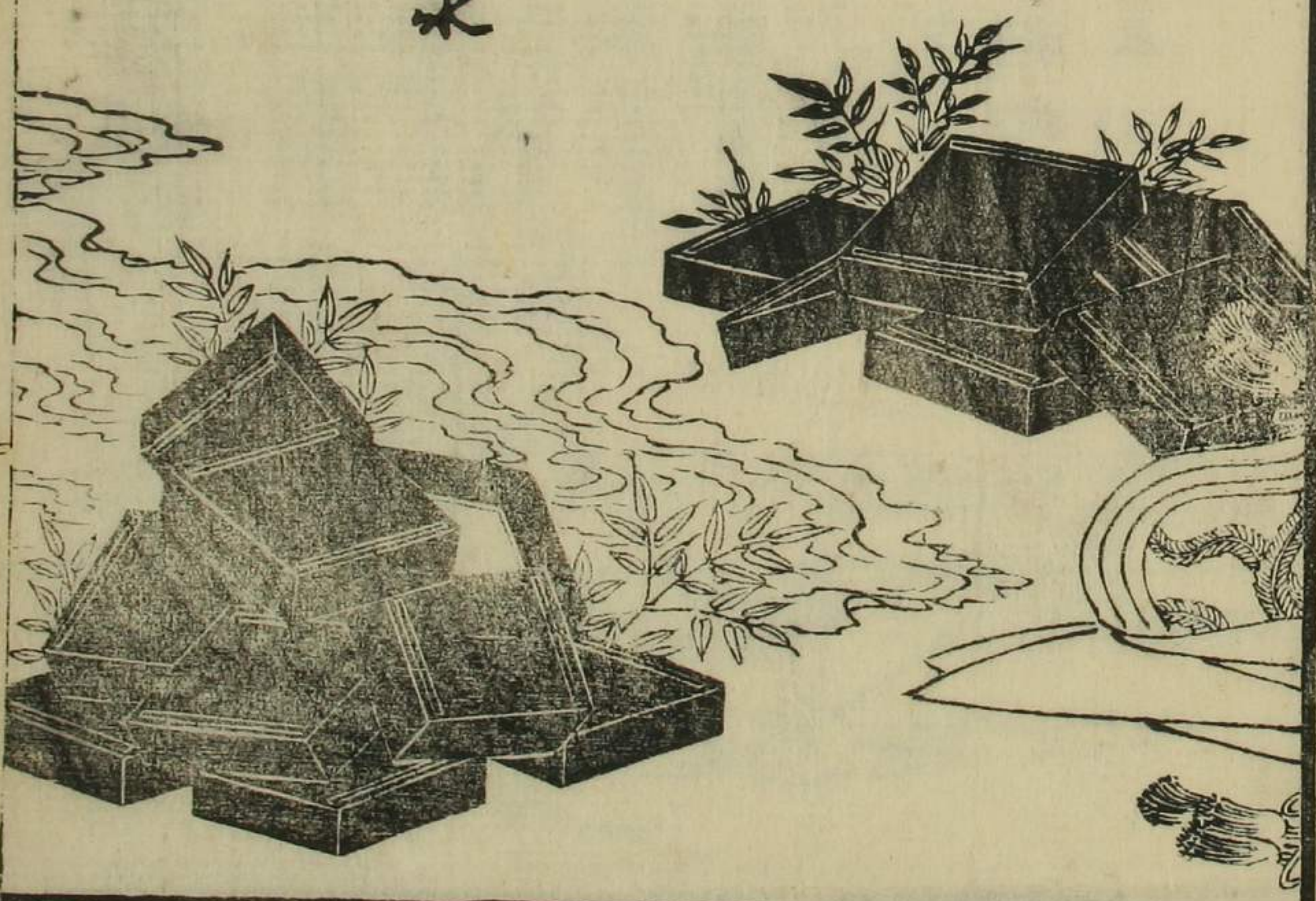
藤與作



- 面遊所の塩
- 耳の
- 髪
- 装束縫
- 岩重宮
- 水白

おて
 寔も玉簪の
 水
 山水

うも
 水
 造



狩人 狐 寵まらう用具一式

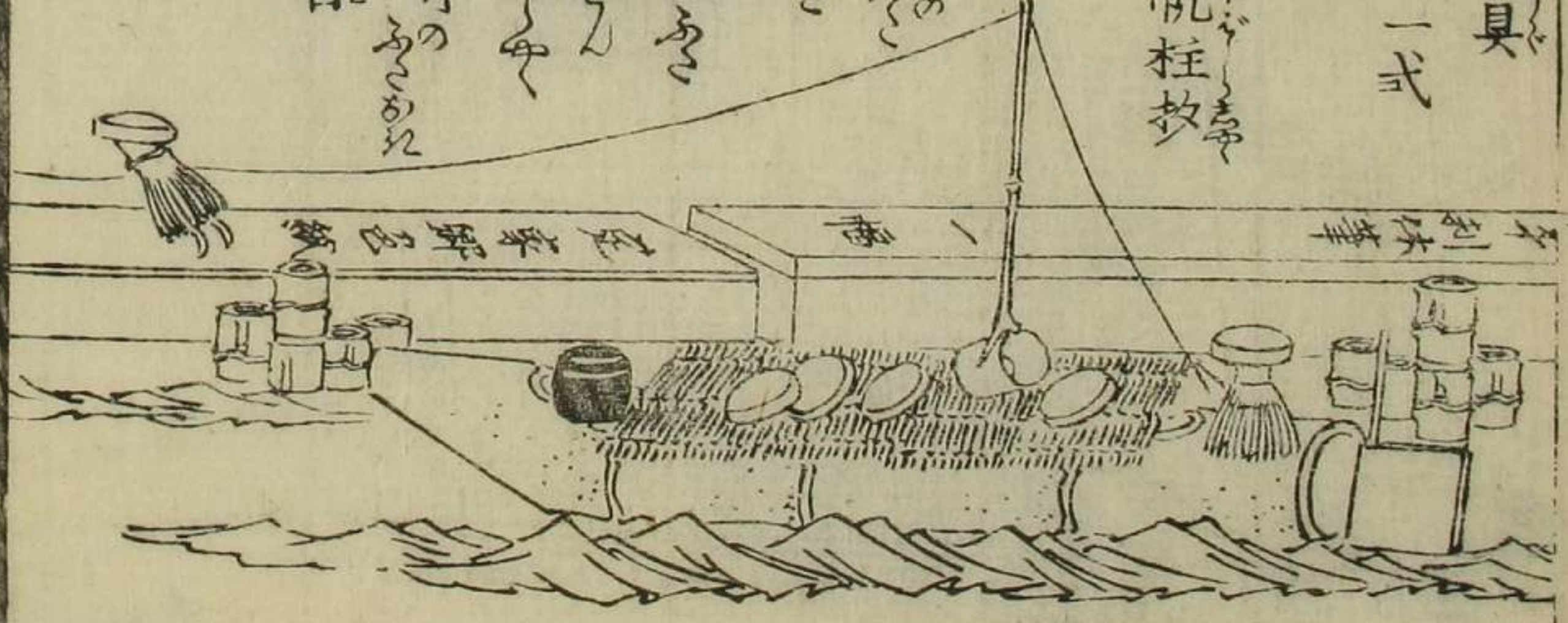
- 狩人面桶(頭巾)金ぼうきん(さら)
- 胴桶(着りのかば)きん(刀)火吹
- 腕塩(ごま)しづ
- 手(ひ)貝(か)子
- 足(ひ)ぼうきん



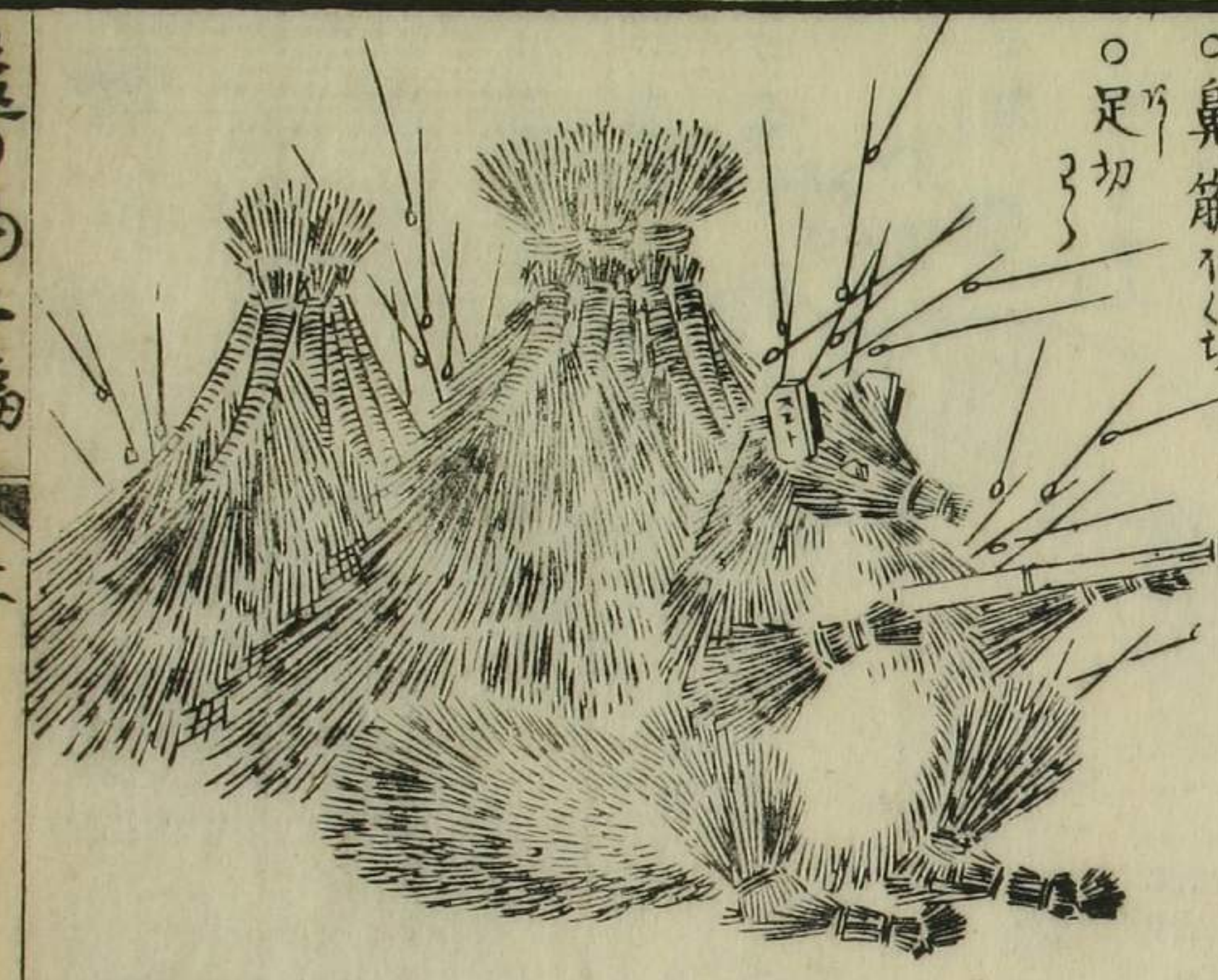
- 太(き)り(塩)ご
- 足(ひ)ぼうきん
- 帯(おび)たすね

淀川登船 一式

- 舟(ふね)竹(たけ)花生(か)の(帆)柱(しら)
- 管(くだ)子(こ)の
- か(ま)生(ま)地(ぢ)さ(つ)の
- 楫(こ)茶(ぢ)色(しよ)ご
- 舟(ふね)子(こ)あ(つ)の(さ)
- 茶(ぢ)巾(きん)
- か(ま)さ(ひ)青(あ)竹(たけ)の
- 堤(つ)掛(か)の(さ)
- 水(みづ)茶(ぢ)巾(きん)

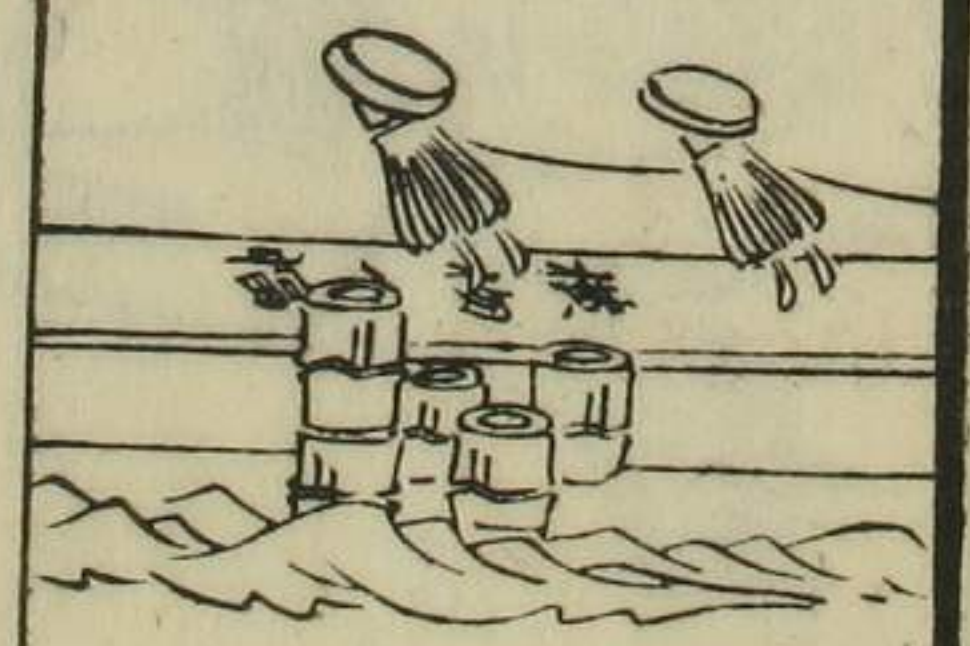


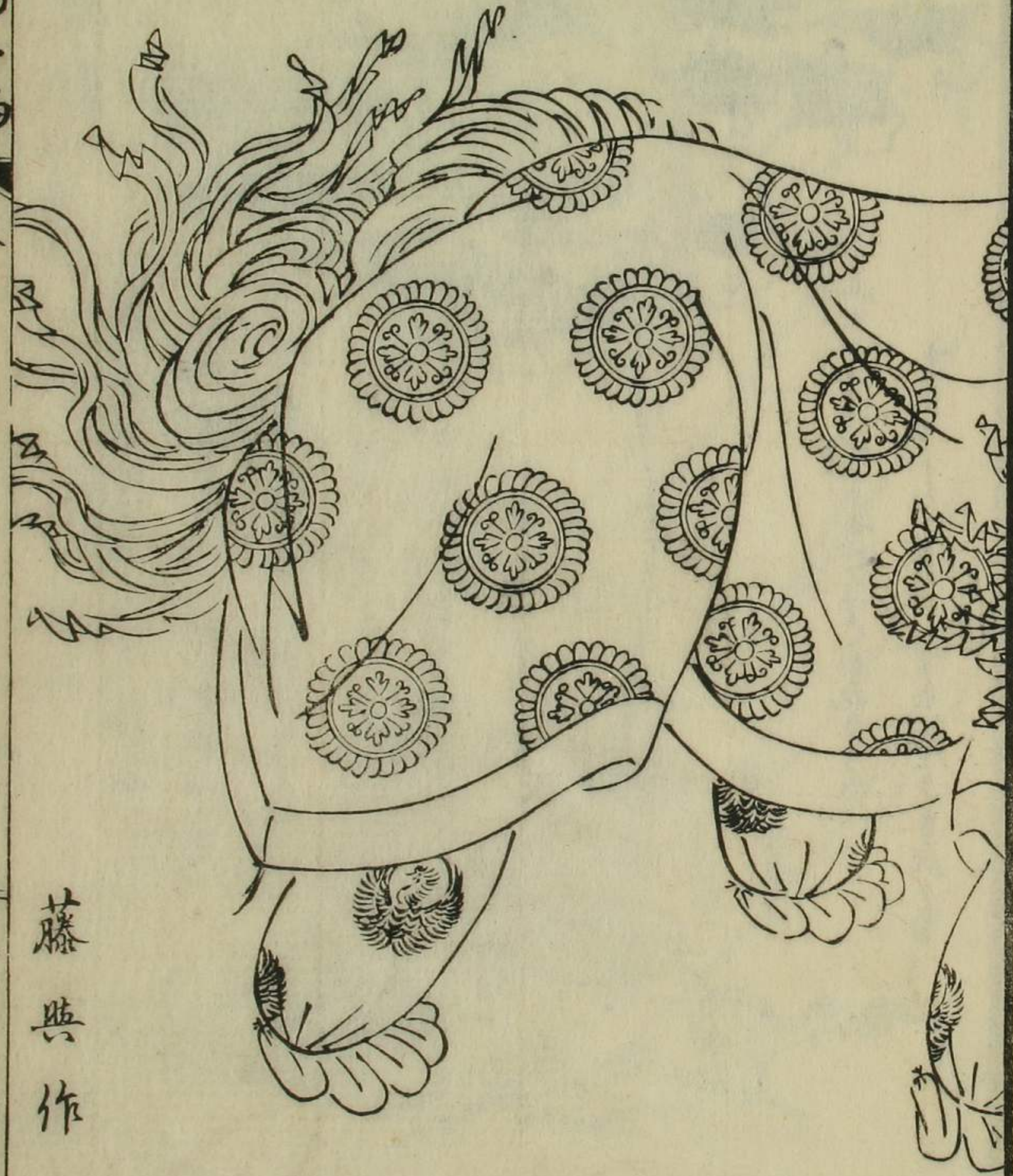
- 狐(きつね)か(ま)ご(ま)箆(へら)
- 取(と)火(ひ)赤(あか)
- 目(め)火(ひ)赤(あか)石(いし)
- 鼻(はな)筋(すぢ)不(ふ)くち
- 足(あし)切(き)
- こ(ろ)や(う)火(ひ)あ(は)れ(た)竹(たけ)
- 縮(ちぢ)み
- 草(くさ)火(ひ)ご



柘植 子(こ)臭(くさ)一式

- 皮(かわ)干(か)くれ
- 種(たね)ろ(ろ)子(こ)
- 葉(は)干(か)鯛(たい)
- 枝(えだ)ふ(ふ)ん

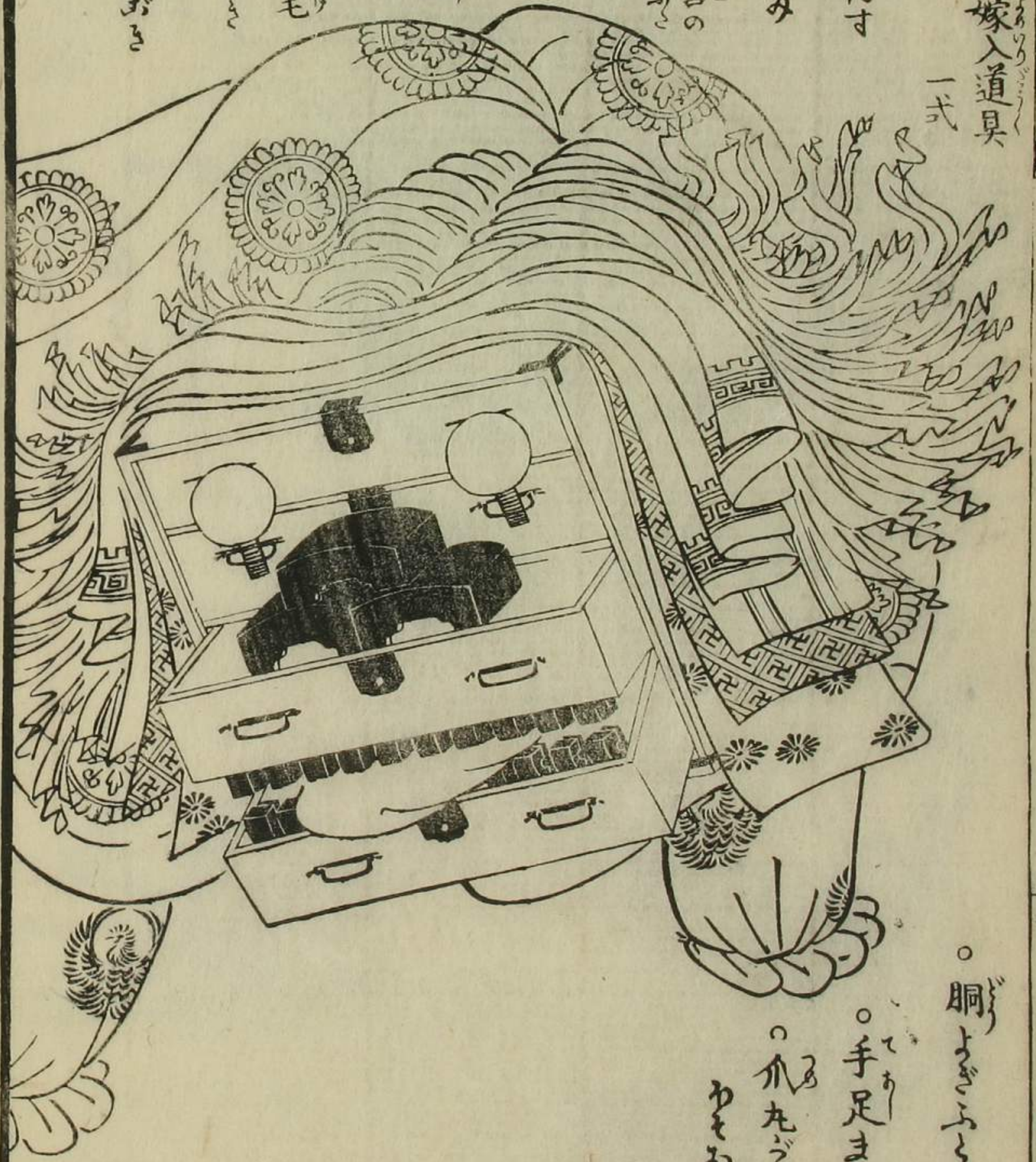




藤興作

獅々 嫁入道具 一式

- 頭 くさ かんす
- 目 め かみ
- 鼻 はな 手筈の
- 齒 は 爪 つめ
- 舌 した 緋の
- 耳 みみ 帯 おび 衣装 いさつ
- から か の毛 け
- 尾 おしり ひ ひ おき

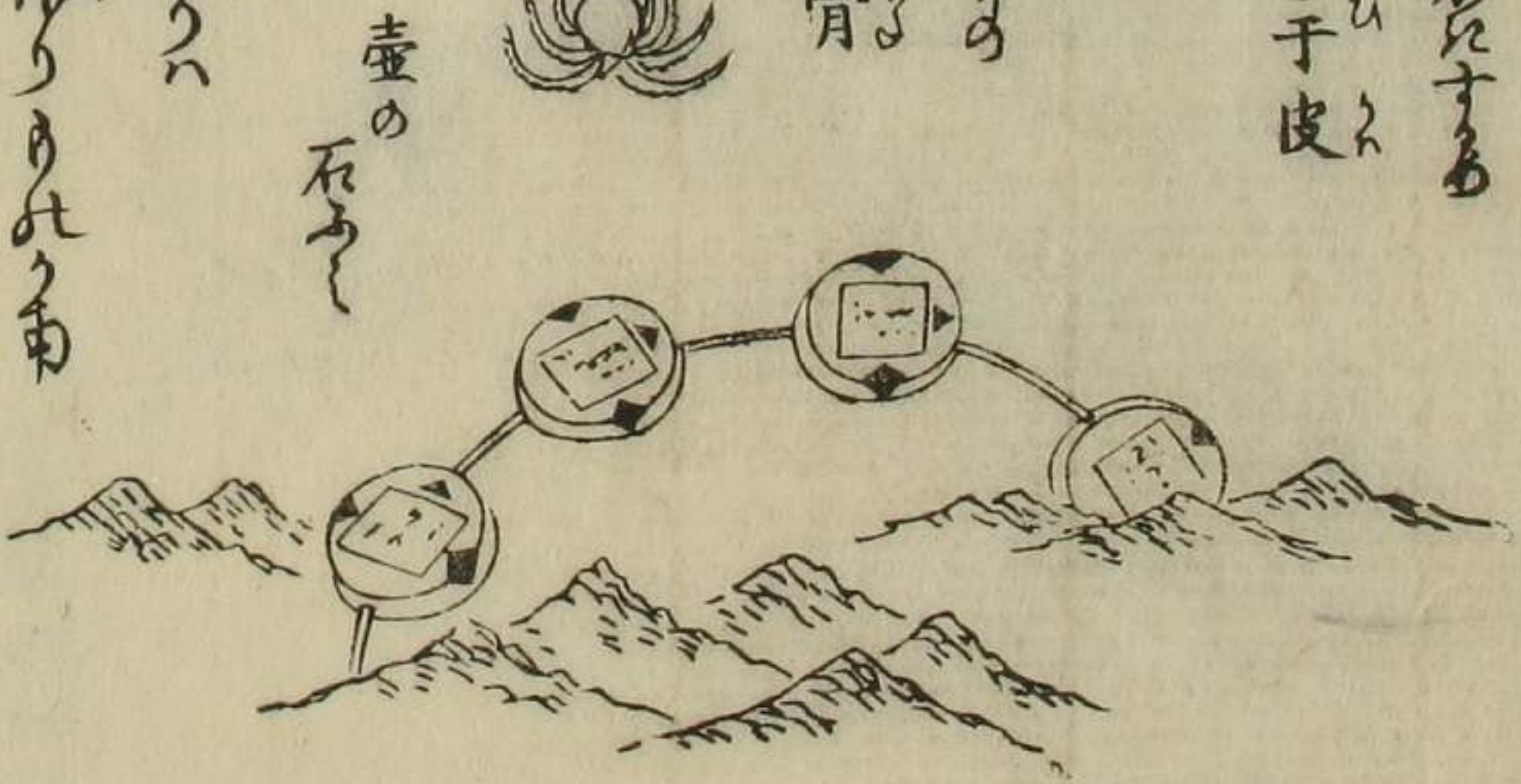


- 胴 たね よきふん
- 手足 てあし まろ
- 爪 つめ 丸 まる け
- わ わ も も おび

大津繪 于物二式

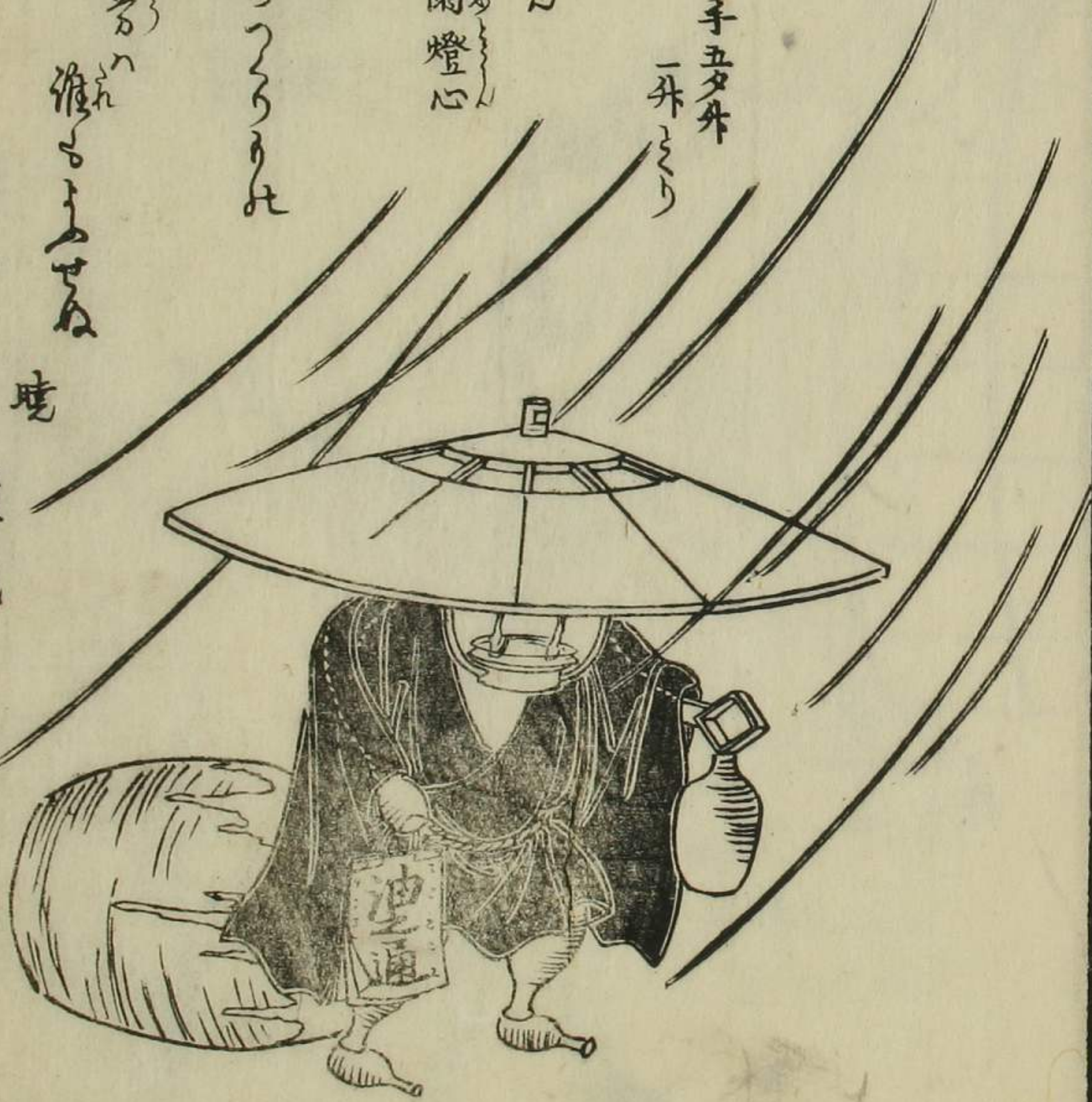


○雷かみから蟹かにの甲かぶ○手足てあしあび
 ○角つる蟹かにのこみ○頭くちの毛けかたすも
 ○着きりのすも○雲くもうの于皮ひ
 ○つり小干こがぎ
 ○太鼓たいこ干かりあびの曲まがり
 ○波なみくらのかゞ骨ほね
 雲くもとらひ何なにくふけけてかみさうい
 まさくくふうへんさ作りりれく角



狸 油屋道具

○笠かさ八方やまがた○面燈めんとうぐ
 ○目燈めとう火ひニツ
 ○右みぎの手て小德利せうとく通とほ○左ひだりの手て五升ごしょう升しょう
 ○足あし德利とく
 ○着きりの油あぶらやのくまん
 ○陰囊いんなん大壺おほ○雨燈あめとう心こころ
 其趣そのしゆ向むかひり
 押おしのつろりりれ
 かんがごよ
 昔むかしの
 推おしもよめる
 曉あけぼの



鐘成

象

風呂場

一式

- 胴どうとく 尻しり尻しり 〇 頭かぶ頭かぶ由ゆ由ゆ
- 足あし腰こし由ゆ由ゆ 〇 鼻はなかかるる石いし
- 牙きばててののややうう 〇 足あし小こ桶かじ
- 爪つめぬぬううぞぞくくろ
- 尾おしり手てぬぬぐぐい
- 目めぬぬううずずろ

象奴

- からかららめめううー 〇 胴どう出でべべののこころろややうう
- 手て足あしここりり未ま堅か炭すす 〇 着きのの手て式しき
- 頭かぶののかかへへりりまま 〇 持もののこころろややうう



おしりしりぬぬぐぐい

よよふふかか減げんああり

風呂道ふろみち

こころろ人ひとどどろ

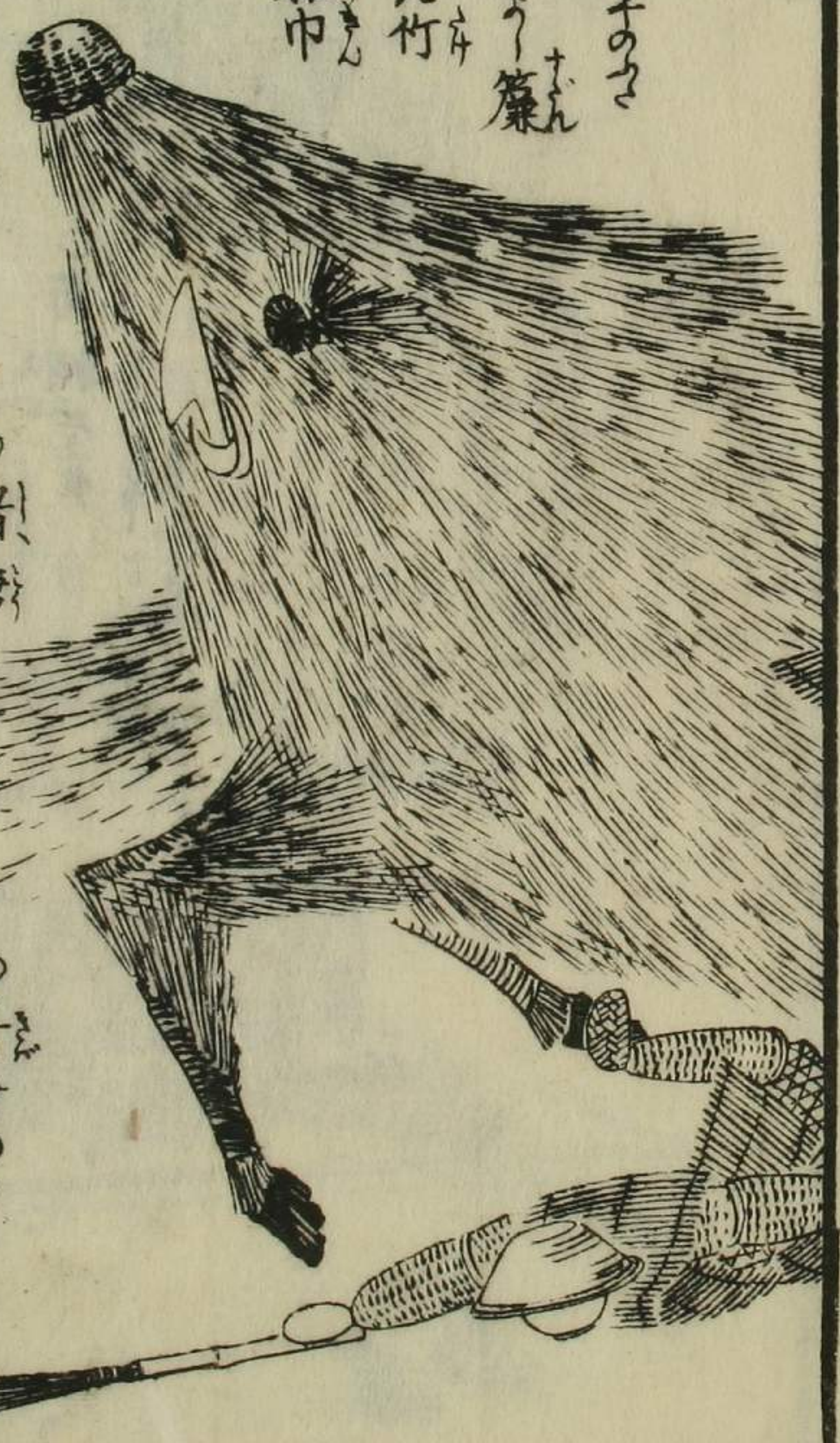
おおそそれれ入いりりまま

扇

藤典作

○短刀 せうと
 ○胸のわがうり やれ平のうり
 ○ひらんき 鉢あらうり 簾
 ○太刀 徳用火おれ竹
 ○着物 あらうり 雑巾

○猪唐 猪唐
 ○目炭 目炭
 ○列卒 頭行
 ○手足はいつて 手足はいつて
 ○装束 小まね 破竹 さら火おき竹



富士牧将

庭廻雑具 一式

○富士山竹箒 ○雪木綿 ふきん
 ○仁田郎 ○頭かたねろろ上やうと重る
 ○ひん土器 ○髪しゆろのきりさうろ ○鉢巻 つゆ木
 ○胸火けり 〇 紋かほり
 ○手足 塩き
 ○手首 〇 足くび
 ○足くび

邯鄲

○輿角色盆

臺同ふ

○屋根角色盆

同天辺茶ん

○官人駕輿丁

朱塗の瓶子

○駢ぬり

○盧生頭黒食籠

○装束袖重管

○裾食籠のふ

○枕朱時画食籠

○團青漆時画五子形の盆

○同柄塗箸塗

○床卓子臺

